

2014年10月31日

地方共助社会づくり懇談会 in 千葉

共助社会と場所性

千葉大学法政経学部 関谷 昇

自己紹介

政治学／（西洋）政治思想史が専門

自治、補完性原理、地域コミュニティの研究

市民参加、協働（県内多数の自治体）

<http://www.noborusekiya.com>

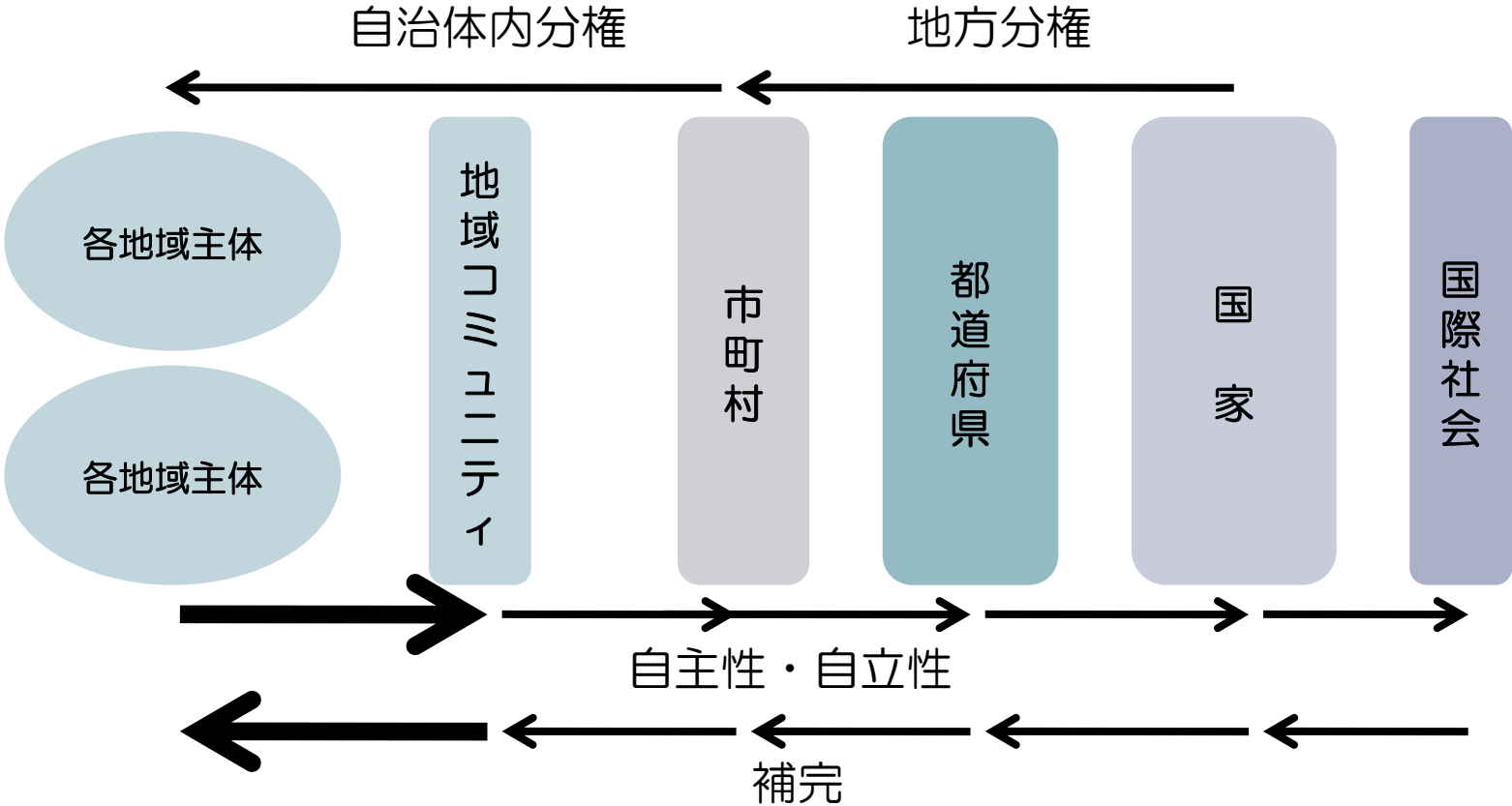
公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

<http://chibanowafund.org>

自治型社会の再構築と共助社会という視点

自治の模索と補完性原理

補完性原理とは、より小さな単位の自主性・自立性を尊重し、その単位での取り組みが困難な事柄については、より大きな単位が補完するという考え方



問われる共助社会

◎個々人の「置かれた状況」への配慮

- ・ 高齢者や障害者など、あるいは社会的基盤から漏れ落ちてしまう人々に個別に対応しうる支援体制
- ・ 課題を抱える「当事者への接近」が可能な開かれた環境
- ・ 住民相互の「多角的な支え合い」を生み出す地域力
- ・ 価値観が全面に出てくるコミュニティの創出
豊かな生き方・望む最期の迎え方、やりがいある働き方を社会的に問う

◎地域補完型（＝共助社会）ネットワークの創出

コミュニティの再構築

- ・ 多中心的な秩序イメージ → 様々な地域拠点
- ・ 様々な立場（団体・組織）の枠組みを超えた補完的つながり

発想の転換

- ・ 異分野・異事業の相乗性
- ・ 地域資源の付加価値化と実践

手法や環境の整備

- ・ 事業化とアーキテクチャー
 - ・ 資源循環を可能にさせる環境整備
-

地域における市民参加・協働の動き

◆市民・地域活動の隆盛

- ・自己実現型活動の拡がり
 - リタイア世代の地域参加
 - 既存の地域団体の再編、事業連携
- ・NPO（法人）の多様な諸活動、中間支援の拡がり
- ・民間企業による地域活動の活性化
- ・課題解決型アーキテクチャー
 - CSR、プロボノ
 - ファンドレイジング（寄付）
 - 社会投資型ビジネス

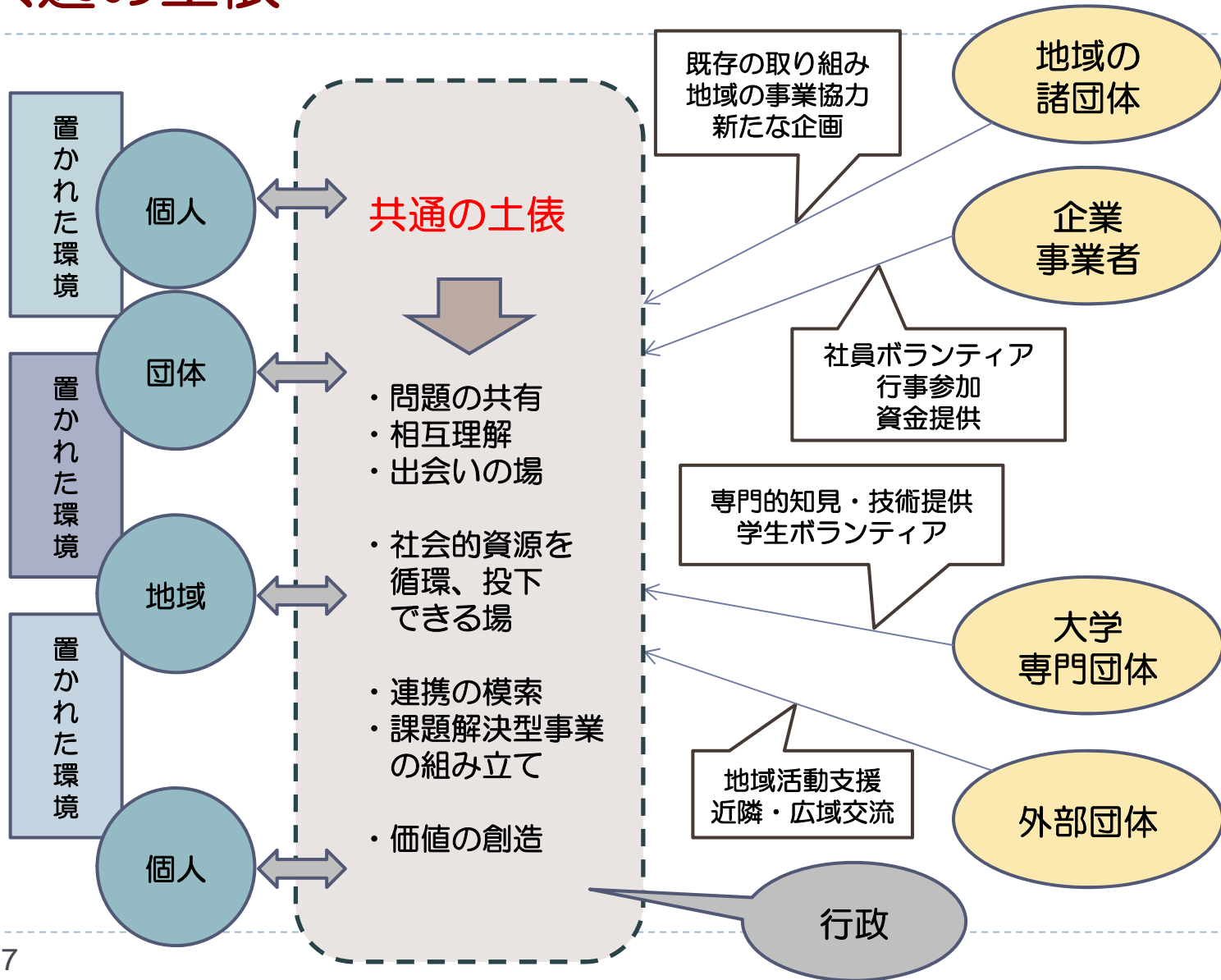
◆市民と行政との協働

- ・市民提案あるいは行政提案による連携（事業）、支援事業の拡がり
- ・環境整備の進展 ex. WS、PI、無作為抽出会議、PPP、ガバメント2.0
- ・二つの側面とバランス（あるいは混在／偏重）
 - 民間活力の登用 ～行財政改革：アウトソーシング、マーケティング、行政補完
 - 市民参加の拡充 ～市民自治：市民の自主的な活動が公共的活動に発展

地域コミュニティの現状と問題点

- ◆「イエ社会」の崩壊、コミュニティの隘路、「個人化」の時代
 - ・人々の生活を支えていた「家」「家族」という枠組の流動化
 - ・学校、会社、地域の流動化と断片化 → 自分で判断しなければならない状況
- ◆政治・行政への期待の「過剰さ」
 - ・非政治・行政の領域に対する認識の弱さ（すべてを政治ないしは行政の問題としてしまう傾向）
 - ・自助・共助・公助の境界線は市民が決めるという自覚の弱さ
 - ・自分たちでできることを考える、という経験の少なさ
- ◆地域社会の「縦割り化」と「囲い込み」の発想
 - ・「団体」ありきの発想の根強さ（他の団体に対する偏見、失われつつあるイエ社会への羨望）
 - ・内輪では近しい関係が維持され、よそ者には冷たい対応がなされる
 - ・地域における横のつながりや連携の弱さ
 - ・特定の考え方、価値観、組織（団体）に囲い込もうとする発想 → 特定の人物への依存
 - ・市民参加や社会投資の手法が先行し、地域に浸透していない現状
- ◆「市民的公共性」が作り出されない構図
 - ・より小さな単位の公共的活動は、より大きな単位の公共的活動からみると私的な活動とみなされてしまい、それが行政の公共性に回収されるという構図
 - ・権威や周囲に自分を合わせなければならないという同調圧力
 - ・市民相互の対話・議論の少なさ

共通の土俵



地域と場所性

地域密着人口の動向

	0-14歳	65歳+	合計	特徴
1940s	37%	5%	42%	農村型社会への志向 地域への土着性
1950s	36%	5%	41%	都市型社会への志向 地域との関わりの減少
1960s	30%	6%	36%	(都市への移動、核家族と会社中心の生活)
1970s	24%	8%	32%	コミュニティ政策の拡がり
1980s	23%	10%	33%	都市計画・景観などへの注目
1990s	19%	12%	31%	
2000s	15%	18%	33%	持続可能社会への志向
2010s	13%	23%	36%	地域における支え合いの必要性の増加
2020s	12%	29%	41%	(都市と農村の格差、限界集落、自治体消滅論)
2030s	10%	32%	42%	
2040s	10%	37%	47%	
2050s	9%	39%	48%	

(注) 2000年まで国勢調査、以降は日本の将来推計人口(2006年)の概算

着眼点

- ・人口全体に占める「子ども・高齢者」の割合と「地域との関わり」
- ・場所性を通じた「生活環境の共有」「異世代のつながり」「まちの履歴と自分の履歴」
- ・市民参加や協働の手法が、浸透／成熟していく媒介としての地域
- ・地域資源が結びつく「結節点」としての地域コミュニティの創造

場所性という視点

表層的次元：同じ地域に居住／就業しているという場所感覚
地縁ないしはテーマ、立場や役割
共通性なき無関心
この次元においてコミュニティを捉えることの限界

深層的次元：様々な履歴が交錯する場所
各々の価値観の背景にあるものが開かれる場所
異質なものの交わりと相互認識の積み重ね
一般論ではなく個別具体的な課題を発見
↓
共通の土俵における課題共有
個別具体的な課題に対する共感と自分なりの関わり方
われわれ意識としての求心力
↓
ここから深まる地域づくり

コミュニティ政策

●コミュニティ政策（組織化）の歴史

1970s前後のコミュニティ政策

ex. 名古屋市の学区連絡協議会、目黒区の住区住民会議、三鷹市の住民協議会、
中野区の住区協議会

1990s以降のコミュニティ政策

ex. 北九州市のまちづくり協議会、神戸市のふれあいのまちづくり協議会、
宝塚市のまちづくり協議会

2004年地方自治法における地域自治区の法制化

近年の新しい動き

ex. 伊賀市の住民自治協議会、上越市の地域自治区

●エリア型住民自治組織の行方

- ・ コミュニティ政策としての組織化の動き →自治体内分権
住民自治組織と行政との関係の見直し、権限配分、地域自治
- ・ まちづくりとしての連携の動き →事業連携
異質な立場（団体）の横のつながり、協働・パートナーシップ



自治体や地域の実情に即したコミュニティづくり

- ・ 自治型か協働型か？ あるいは初歩的実践からの段階的な発展
- ・ 住民自治組織を行政の管理下に回収しようとする発想は限界
- ・ テーマ系、投資系の地域づくりとの重層性

媒介項としての地域ネットワーク

●共通の土俵

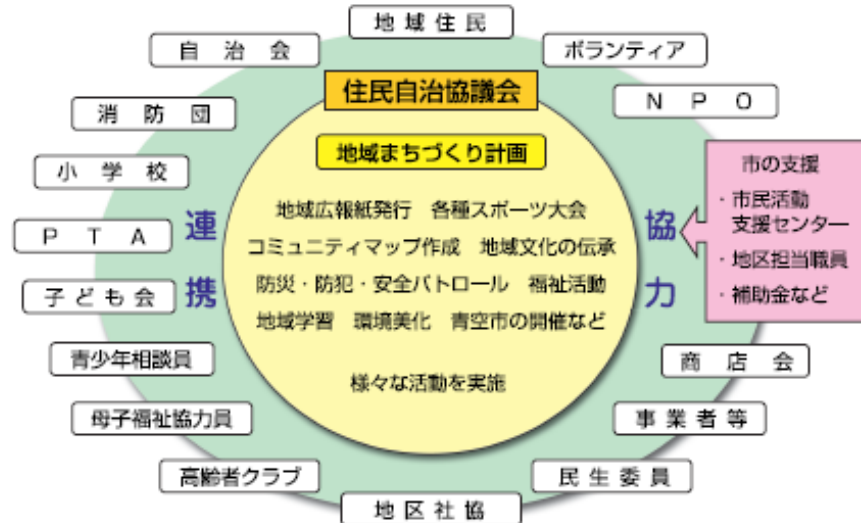
- ・ 強固な組織かではなく、緩やかなつながりというイメージ
- ・ 開かれた地域コミュニティの再構築
- ・ 様々な団体や個人が参加し、相互理解・課題の共有が開かれる意味空間
- ・ 多様な地域資源が持ち寄られる場、媒介される場
- ・ 小さな自治の始まり

●結節点としての地域コミュニティ

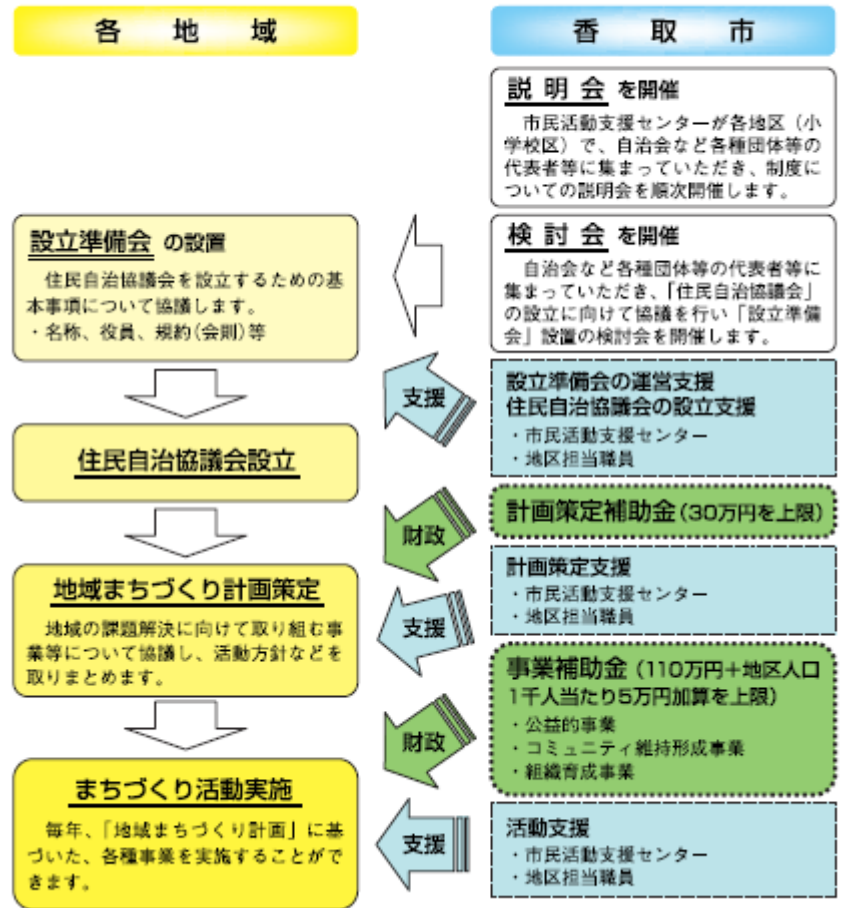
- ・ 管理統制して短期的成果に結びつけるのではなく、側面支援を通じて地域の自主的で自由な取り組みから生み出される可能性を尊重
- ・ 個別団体を対象（支援）とすることの限界を突破
- ・ 市民と行政とのあいだにおける協議を開く場
- ・ 領域横断的な発想と実効性を政策へと発展させる契機
- ・ 地域活性化の孵化器

香取市住民自治協議会

住民自治協議会のイメージ



住民自治協議会の設立手順の例



香取市の取り組みの特徴

- ◆「地域のことを教えてもらおう」というところから出発した、市民と行政との対話 →指針づくりへ
- ◆地域の諸課題を少しずつ解決していく（従来のあり方を見直す）場・きっかけとしての住民自治組織という共通了解
- ◆合併によって失われつつあった地域の個性を改めて取り戻し、当該地域なりのまちづくりを展開 →われわれ意識の醸成
- ◆地域担当職員、支援センターなどが地域に密接に関わり、協議型で協働を進めることを重視 →地域の諸計画を関連部署が把握
- ◆地域資源の循環を内外に創出していくことを通じて、地域力とその活性化を育ていける可能性 →今後の課題

地域ぐるみの支え合い活動（千葉市幸町1丁目）

- 円卓会議からの出発
 - 自治会連合会／各種地域団体／学校／病院・福祉施設／民間企業
 - 既存の支え合い活動をさらに充実させる狙い（地域防犯活動などの実績）
- アンケート調査（全戸に配布・回収）
 - 上位を占めた課題：人とのつながりの弱さ、情報の不足、買い物の困難…
 - 高齢者の安心・安全が中心課題、異世代間交流と身近な支援の充実
- 諸事業の計画・実施
 - ・毎週金曜の朝市
 - 買い物支援（身近で買い物ができることへの高いニーズ）
 - 房総地域との連携（震災による風評被害に悩む農家など）
 - ・ふれあい電話
 - ボランティアが登録者に電話をかけて世間話をする
 - ・人生万歳
 - 小学校における地域人材バンク
 - 正課の授業補助（裁縫指導から九九暗唱の聞き役まで）や放課後教室（昔遊び）
 - ・ホームセキュリティの格安提供
 - アルソックによる商品開発と普及
- 持続可能な組織づくり
 - 従来の自治会連合会やコミュニティ組織に新たな実働部門を創設
 - 円卓会議をNPO化し、まちづくりの求心力を高める

